

科目名	経済データ解析論	科目分類	■ 専門科目群 □ 総合科目群		
			経済学科	□ 必修	■ 選択
			学科	□ 必修	□ 選択
英文表記	Analysis on economic data	開講年次	■ 1年 □ 2年 □ 3年 □ 4年		
		開講期間	□ 前期 ■ 後期 □ 通年 □ 集中		
ふりがな	たむら ひであき	実務家教員担当科目	修得単位	2単位	
担当者名	田村 英朗	実施方法	■ 対面のみ □ 遠隔のみ □ 対面・遠隔併用		
授業のテーマ	経済データの分析手法について理解し、その分析結果について正しく解釈できる力を身につける。				
到達目標	経済データの分析手法とその背景にある考え方が理解できるようになる。 推定結果の見方の基本事項を理解し、自分で結果の解釈ができるようになる。				
授業概要	計量経済学の有用性と分析の流れを理解し、分析および解釈の前提となる統計学の考え方および実際の分析手法となる単回帰分析、重回帰分析とその回帰モデルの検定方法について学びます。そして、実証分析の事例に基づき推計結果を解釈する能力を養います。				
授業計画					
第1回	計量経済学の有用性と分析の流れ				
第2回	理論と実証、データの種類、推定結果を理解するための用語や概念				
第3回	標本の特性を図るものさし(1) 中心を測るものさし、ばらつきを測るものさし				
第4回	標本の特性を図るものさし(2) 2変数の関係を測るものさし				
第5回	計算演習(1) 和記号・分散、相関係数				
第6回	正規分布と正規分布表				
第7回	標本分布(1) 無作為抽出、標本平均の分布、中心極限定理				
第8回	標本分布(2) 正規母集団からの標本分布、さまざまな分布(t分布など)				
第9回	仮説検定				
第10回	回帰分析(1) 回帰関係の意味、回帰モデルの諸仮定、最小二乗法				
第11回	回帰分析(2) 単回帰分析と決定係数、重回帰分析と自由度修正済み決定係数、				
第12回	回帰分析(3) 簡単な非線形モデルの扱い、ダミー変数の活用、関数形と弾力性				
第13回	エクセルによる回帰分析の実施方法と推定結果の見方				
第14回	計算演習(2) 単回帰分析、重回帰分析、推定結果の評価				
第15回	復習				
第16回	定期試験				
授業時間外の学習	1. 授業で配るプリントや課題に十分に取り組んでください。(1時間程度) 2. 日頃から日本経済新聞やその他の経済誌に目を通すようにしてください。(0.5時間程度)				
履修条件 受講のルール	経済学入門を履修していることを前提として講義を進めます。				
テキスト	必要に応じて資料を配布します。なお、事前に連絡が無く欠席した学生には原則配布しませんので、友人同士でコピーして下さい。 第13回・第14回の授業ではPCを使用します。各自ポータルサイトより課題データを入手の上、ノートPCを持参して参加して下さい(詳細は後日連絡します)。				
参考文献・資料	『実証分析のための計量経済学—正しい手法と結果の読み方』山本勲 中央経済社(2015) 白砂堤津耶『例題で学ぶ 初歩からの計量経済学(第2版)』日本評論社、2007年。 豊田利久,小川 一夫,長谷川 光,谷崎 久志『基本統計学(第3版)』東洋経済新報社、2010年。				
成績評価の方法	小テスト・レポート40%、定期試験60%をおよその目安として、総合的に評価します。				

	<ul style="list-style-type: none"> ・出席回数が規定に満たない場合及び授業料その他納入金等の全額を納めていない場合は、試験を受けることができません。 ・出席確認時に不在だった場合は原則としてその回は欠席とします。 ・授業中に無許可で退出した場合は欠席とします。 ・授業の理解、および予習復習が充分であるかを確認するため、授業中に小テストを行います。 ・レポート課題は授業内又は掲示板（ポータルサイト含む）で指示します。
オフィスアワー	担当科目がある曜日の第4時限の時間帯（毎週木曜日を除きます） ※これ以外の時間帯は必ず事前に予約してください。
成績評価基準	秀(100～90点)、優(89～80点)、良(79～70点)、可(69～60点)、不可(59点以下)
実務経験及び実務を活かした授業内容	
学生へのメッセージ	最近統計ソフトの開発・普及が進み、難解な数学理論の知識がなくても高度な実証分析ができるようになりました。その恩恵を十分に享受して今後の実社会の活動に役立てるため、推計結果を正しく解釈する能力を頑張って身に付けていきましょう。